

図書館 掲 示 板

2016年 岩手の読書週間

読書推進標語・手づくり絵本入賞者、読書推進運動功績者

「岩手の読書週間」は2月1日～14日まで“春を待つ、雪解け前の静けさの中で、本に親しもう”というスローガンのもとに、昭和35年に岩手県独自の読書週間として設定されました。この期間中は読書週間を全県的に展開し、読書普及活動をおこなっています。

この読書週間の主催行事として、平成27年度「岩手県読書を進めるつどいが」2月6日(土)にアイーナで開催され、読書推進標語と手づくり絵本の入賞者や読書推進運動功績者の表彰が行われました。読書推進標語の応募点数は765点、手づくり絵本は119点の応募がありました。読書推進運動功績者としては5団体が表彰されました。

手づくり絵本の応募作品は1月30日～2月7日まで県立図書館で開催した「第36回手づくり絵本展」で展示した後、一部作品を除き県内の図書館等で巡回展示が行われています。

最優秀賞、優秀賞は次の方々です。(敬称略)

1 読書推進標語入賞者

最優秀賞 「スマホより 読書する彼 かつこいい」

福永 光雄 (岩手県立盛岡視覚支援学校専攻科3年)

優秀賞 「見る 聴く 触れる 本で培う 見通す力」

宮 勉 (岩手県立盛岡視覚支援学校専攻科1年)

「旅に出よう しおりの船と 本の海」

高橋 詩乃 (花巻市立若葉小学校5年)

2 手づくり絵本入賞者

<子どもの部>

最優秀賞 「かいぞく がはははは」

長谷川 友信 (釜石市立小佐野小1年)

優秀賞 「リボンちゃんとぼうしくんのたび」

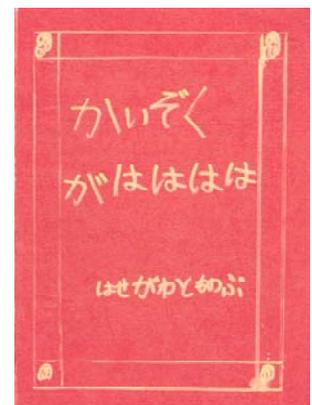
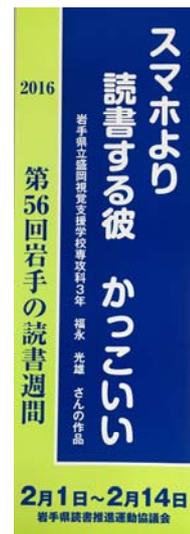
大沢 天音 (久慈市立久慈湊小4年)

「めでないたね」

山本 由愛 (二戸市立仁左平小3年)

「虫たちのうちゅうたんけん」

木地谷 凜香 (久慈市立山形小2年)



<一般の部>

最優秀賞 「魔女の子ハルちゃん」
小松 晶野 (滝沢市)

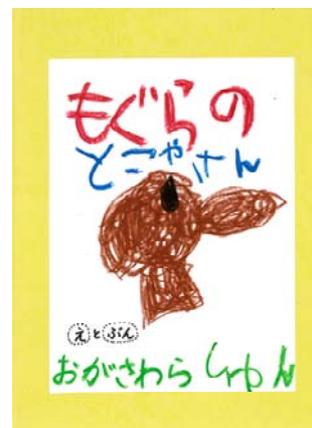
優秀賞 「ほたる」
宮澤 まさ子 (九戸村)
「みみこちゃんのへんしーん！」
佐藤 洋子 (二戸市)
「魔女がほんとは好きなもの」
佐藤 明美 (滝沢市)



<わかばの部>

最優秀賞 「もぐらのとこやさん」
小笠原 駿 小笠原 舞子 (二戸市)

優秀賞 「かっぱレコード」
三上 春陽 三上 佳澄 (盛岡市)
「やさいをそだてたよ」
豊巻 慶 豊巻 智子 (北上市)
「ひみつだよ」
原田 昊輝 原田 由布子 (滝沢市)



3 読書推進運動功績者

■にこここひろば 代表 鷹觜 靖子 (紫波町)

住民の要望から、地域に住む各分野の人々の努力により設立された。絵本の読み聞かせ本の貸出しなどの読書推進活動とともに、子どもたちの遊びの場、母親たちの交流の場を提供している。グループ内での研修にも意欲的で、経験豊かな講師や地域の先輩方から学ぶことにより、各年代にわたる関わりを大切にし、地域に密着した活動を行っており、コミュニティ形成の一助となるなど、読書活動の推進に貢献した。

■おはなしぱちぱち 代表 佐藤 牧子 (一関市)

平成13年より、有志の集まりで絵本の読み聞かせ活動を行っていたものであるが、翌年に正式結成した。会員相互に研鑽を重ねながら、読み聞かせ活動を年間200回以上開催しており、「おはなしぱちぱち」の読み聞かせを体験した子どもたちが、大人になっても地元の図書館を訪れ、読書に親しんでいる。子どもたちだけでなく、父母や祖父母にも読書の楽しさを伝え、豊かな心を育む活動は、地道な継続により実を結び、読書を通じた「地域の人づくり」に多大な貢献をした。

■読み聞かせサークル 風の子 代表 佐藤 美枝（一関市）

自分の子どものためにと始めた活動だったが、今は地域の子どもたちのために、小学校や図書館で定期的に継続して活動している。若い母親の感覚で、ゲーム、音楽、運動等を取り入れた活動的なおはなし会は、子どもたちの心をつかみ、絵本やおはなしの世界に引き込んでいく。また、平成 26 年からは、高齢者福祉施設でのおはなし会を新たに開始するなど、新しいことに挑戦し続けている。少人数での活動ではあるが、幅広い経験を生かした活動を展開し、地域の読書普及活動の推進に貢献した。

■人形劇グループ どんぐり 代表 鈴木 はつ子（平泉町）

昭和 61 年に発足してから町内外各所にて上演活動を継続し、子どもはもちろんのことお年寄りにも親しまれており、幅広い年代の読書推進活動に貢献した。昔話を中心とした演目は、方言を取り入れたアレンジがなされており、昔ながらの言葉や物語と触れ合う機会を、多くの子どもたちへ提供している。また、お年寄りにとって「どんぐり」の人形劇や紙芝居は、昔を懐かしみながら楽しく過ごす機会となっており、世代を超えて愛されている。

■読書と朗読のつどい「本だす会」 代表 金子 美枝（普代村）

平成 17 年に、普代村初の読み聞かせボランティア団体として設立された。村図書館主催のブックスタート事業や紙しばいと映画会等で読み聞かせ活動を展開しており、活動場所は村図書館の他に認定こども園、小学校、特別養護老人ホーム等、子どもからお年寄りまで幅広く村の読書推進に貢献した。